

皆様の暮らしに安心と活力をお届けする情報紙

January vol. 20
たよ

くりんぱーく便り

株式会社門前クリーンパーク 輪島市門前町劔地口1番地 TEL.0768-45-1820

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご厚誼を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年は、新型コロナウイルス感染症が国内外で流行し、私たちの社会に大きな変化をもたらしています。罹患された方々にお見舞い申し上げますとともに、感染拡大防止にご尽力くださっている皆様に深く感謝いたします。

また、令和2年7月豪雨ならびに各地で発生した災害により被災された皆様へ、一日も早いご復興を心よりお祈り申し上げます。

タケエイグループでは2020年の4月に、発電出力49,900kWという首都圏最大規模を誇る市原グリーン電力株式会社を連結子会社いたしました。首都圏から発生する建設廃棄物に含まれる木くずを主な燃料とする木質バイオマス発電所です。5月には、木質バイオマス発電の燃料材を確保するだけでなく、森林の整備・保全・育成にも積極的に関与するため、株式会社タケエイ林業を設立しました。また、同じ5月には一般財団法人タケエイSDGs推進財団を設立し、活動第1弾として、輪島市及び志賀町等にサージカルマスクを寄贈いたしました。

そして、かねてより建設工事を行っていた、タケエイグループ6ヶ所目の木質バイオマス発電所である株式会社田村バイオマスエナジー（福島県田村市）のバイオマス発電所が11月に竣工し、今春より営業運転を開始する予定です。

門前クリーンパークの建設工事においては、埋蔵文化財発掘調査や保護対象種とした鳥類等への生育環境に配慮しながら、関係者一同一丸となって取り組んでおります。

2021年は丑年、粘り強さが実を結ぶ年とも言われます。コロナ禍の収束は未だ見通せない状況ではございますが、ご家族や親しい人々との絆を糧に、元気で明るい一年をお過ごしください。引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社門前クリーンパーク
代表取締役

三本 守

能登の里山里海を守る活動のご報告

2020年6月18~19日、深谷川河口の海岸に打ち上げられて堆積した海洋ゴミの清掃を行いました。崖の谷間にあるため、人の手が頼りです。体力自慢の仲間たちにより、0.5㎡のゴミ袋200袋、5.4tを撤去することができました。

白米千枚田での田植えイベントはコロナ禍のため中止となってしまいましたが、地元の皆様が丹精こめて育ててくださったおかげで、2020年9月には稲刈りを行うことができました。一日も早くコロナ禍が収束し、能登の美しい自然のなかで過ごせる日が戻ってくることを願っています。



稲刈り



2020年実施工事概要

施工状況と今後の工程について

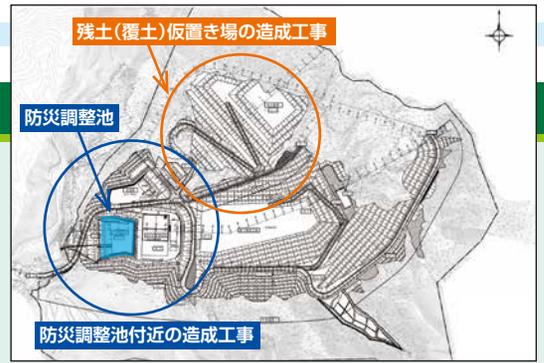
施工状況について

門前クリーンパークの建設は、2018年12月に着工し、2年以上が経過しました。昨年は、防災調整池付近の造成工事のほか、濁水対策の強化工事、残土（覆土）仮置き場の造成工事等を実施しました。法面の切土工事には、重機に自動制御装置が組み込まれている（ICT）を用い管理を行うとともに、完成した法面には植生マットの敷設を行いました。今後も環境に配慮し安全に工事を実施していきます。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。



環境調査について

環境影響評価書にしたがって、第1期工事期間中の環境調査および環境保全措置を実施しました。動物の調査では、2019年同様、ノスリの巣立ちを確認しました。環境調査の結果は、1年間の調査結果をとりまとめ、中間報告としてホームページで公表していきます。



全体平面図(第1期整備)



2020年11月撮影

タケエイグループの近況

「一般財団法人タケエイSDGs推進財団」設立

タケエイグループは、総合環境企業として資源循環型社会へ貢献することを経営理念に掲げています。社員一人一人が意識を高く持ち、グループ丸となってSDGs（持続可能な開発目標）の達成を目指すため、財団を設立しました。

- 1 事業でご縁のある石川県輪島市及び志賀町、福島県相馬市に、サージカルマスク計25,000枚をお贈りしました。
- 2 (株)大仙バイオマスエネルギー（秋田県大仙市）最寄りのバス停留所は、冬の積雪等の影響で老朽化していました。(株)大仙バイオマスエネルギーほか2社が停留所を新築し、発電用ボイラーの冷却水を利用した暖房設備を付加して地元へ寄贈した際、費用の一部を負担しました。



▲SDGs財団活動イメージ図



▲新築されたバス停留所
(右後方は大仙バイオマスエネルギー発電所)

「株式会社タケエイ林業」設立

木質バイオマス発電事業においては、発電用燃料材を中長期的に安定調達することが重要です。また、間伐材を燃料として活用することにより、適切な間伐を促し、健全な森林の育成・保全にも貢献することができます。自ら林業者として森林の保有・管理を行い、各地域の森林組合等とも連携しながら、燃料材の確保から木質チップ供給までの一貫体制を構築するため、(株)タケエイ林業を設立しました。



▲木材の部位ごとの活用方法

千葉市と「災害時における応急対策の協力に関する協定書」締結

昨今の気候変動により、全国的に豪雨や大型台風等の自然災害が頻発していることから、千葉市において地震や風水害等による大規模災害が発生し、災害廃棄物に係る応急対策を実施する必要があると千葉市が認める場合に、速やかに必要な人員、資機材等を出动させることを可能にし、タケエイグループが培ってきたノウハウや経験で迅速な復旧活動をお手伝いするものです。



▲左:熊谷千葉市長 右:タケエイ阿部社長

株式会社田村バイオマスエネルギー「田村バイオマス発電所」竣工

(株)田村バイオマスエネルギー「田村バイオマス発電所」が、福島県田村市に竣工しました。福島県は「原子力に依存しない」「安全・安心で継続的に発展可能な社会づくり」を目指し、再生可能エネルギーの導入を進めています。(株)田村バイオマスエネルギーは福島県内の木材チップを燃料として発電した、化石燃料に依らないクリーンな電気を地元へ供給するだけでなく、県内森林資源の循環活用による林業への貢献も目指します。



▲田村バイオマス発電所外観

お問い合わせ

株式会社門前クリーンパーク
〒927-2342 石川県輪島市門前町劔地口1番地
TEL. 0768-45-1820
<http://www.takeei.co.jp/mzcp/>
皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

